

取組の概要

取組の概要 : 選果場の機能向上による集出荷コストの低減
 計画作成主体 : 今治市農業再生協議会
 対象品目 : 果樹 (かんきつ)
 (産地面積:385.1ha)
 主な取組主体 : 越智今治農業協同組合
 成果目標 : 集出荷コストの10%以上の削減
 助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設)
 状況

ポイント

選果場に新たに腐敗センサー等を導入し、他選果施設との品目集約を図ることにより、集出荷コストの10%以上の削減を目指す。

地区の概要



愛媛県今治市
 今治市陸地部及び関前(岡村)地区(越智今治農業協同組合管内)

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

集出荷コスト : 135,859千円

〈目標:H31年度〉

集出荷コスト : 120,872千円



推進体制

地域の関係者 (愛媛県東予地方局、今治市、越智今治農業協同組合) が一丸となって、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

愛媛県果試第28号の高品質化を図るため、被覆資材の設置を推進。

〈県・市町村単独事業〉

活用予定なし。

事業効果

- 選果場の選果経費の削減及び流通段階における腐敗果率の低減が図られる。
- 家庭選別に係る労力の軽減ができることでコスト削減及び生産量の維持、拡大が図られ、産地全体の所得向上が期待できる。

～選果場管理運営コスト～

